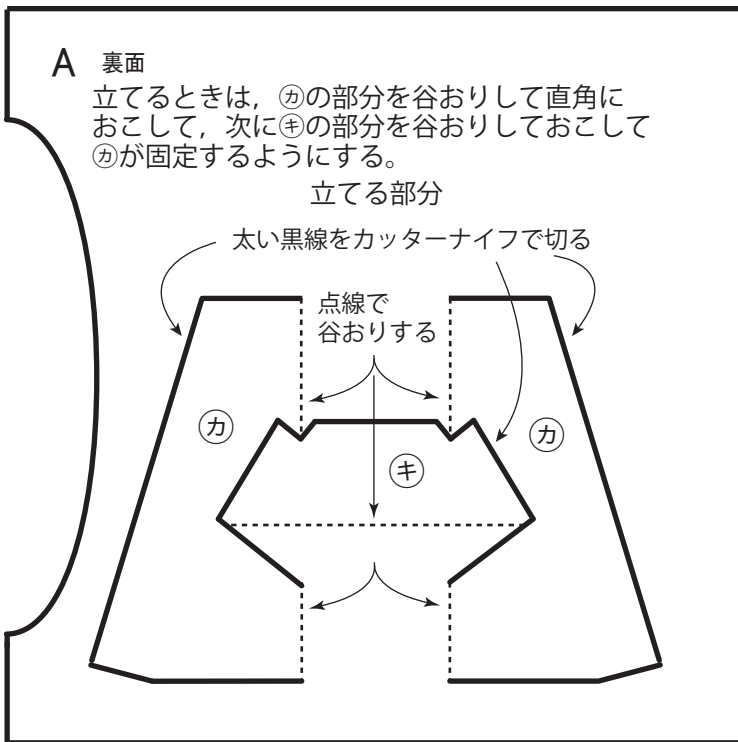
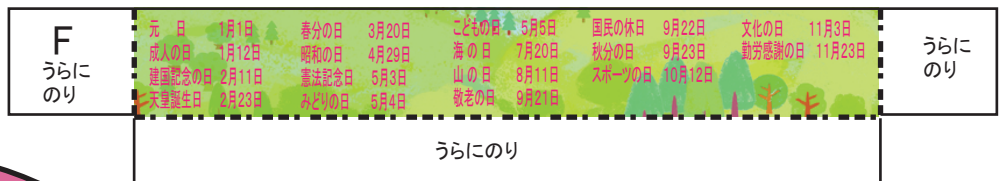
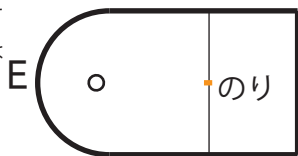


2026年カレンダー デスク用 厚紙に印刷 はさみ カッターナイフ 穴あけの道具 ボンドか のり わりピン 青色部分は端まで使う

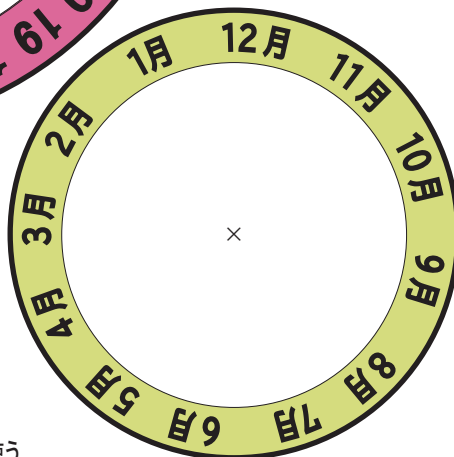
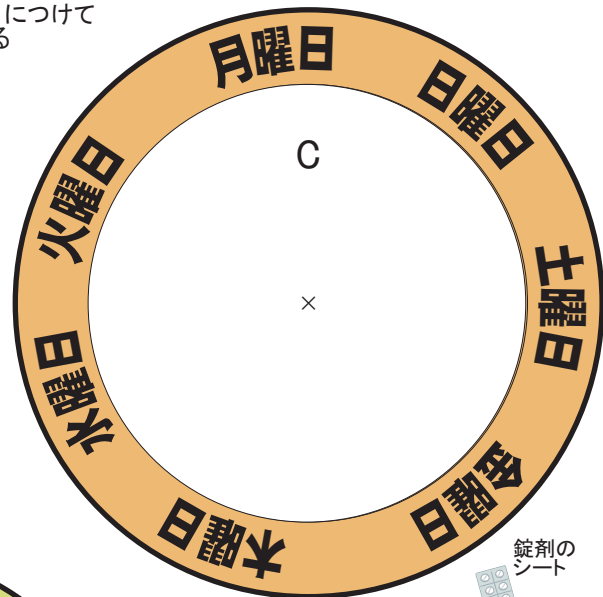
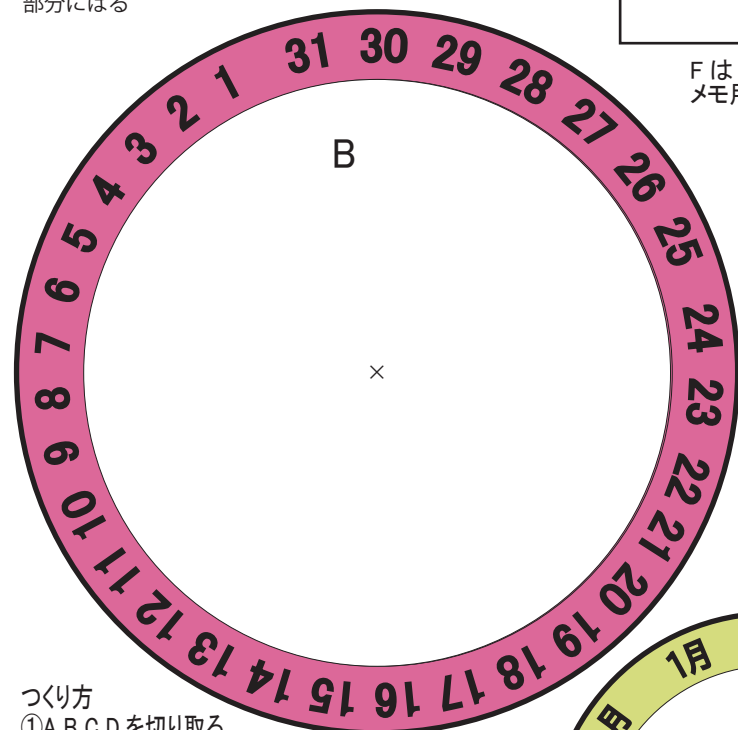
毎日1回まわすことで今日を大切にできます



吊り下げるときにつかう部品
机に立てるときは
いら
ない
組み立てが
終わったら
のりをつけて
Aの㊦の
部分にはる



FはAの表の下Gにつけて
メモ用紙入れにする



つくり方

- ① A B C D を切り取る
 - ② A の灰色部分をカッターで切り取る
 - ③ A の表面に好きな絵やイラストをかき色をぬる
 - ④ A の立てる部分の太い黒線をカッターで切る
点線に折り目のすじをつける
 - ⑤ A を半分に折り、A の表 × から裏へ穴をあけておく
B C D の × に穴をあけ A → D → C → B → A の裏の順で
わりピンにさしていき、A の裏でわりピンを広げる
 - ⑥ A の表面の㊦と㊧の裏にのりをつけ山おりしてつける
 - ⑦ A の表の㊨の部分の裏にのりをつけ山おりしてつける
 - ⑧ 立てる部分の折り線でおり広げて立つようにして完成
- ※かべに吊り下げるときは⑧をつくらずに E を使う

図① わりピンがないとき

つまようじや竹串を軸に使う
家庭にある身近なものでつくれます。
薄いプラスチックや厚紙（薬を買った
時の錠剤のシート ストロー
紙箱 ダンボール ハガキなど）を
小さく切ったのを2つ作り穴をあける。
1つを図①のようにつまようじに通し、
カレンダー部品を A 表 → B → C → D → A 裏の
順につまようじに通す。
最後に図②のように2つめの部品を
つまようじにさして、カレンダーが
回るようにする。
つまようじの余りを切りとる。